



全農長野県本部情報／グリーン レーダー Vol.455

Contents

平成29年度のスタートにあたって

A-Policy 重点事業方針

転換期にあるJA葬祭事業

A-Reports

・JA長野県青年部協議会との意見交換会を開催……………	3	・平成29年度 機構・分掌・要員について……………	8
・「第42回肉牛を育てる女性の集い」を開催……………	4	・平成29年度 全農長野県本部機構図……………	9
・平成28年度長野県ホルスタイン名誉原種牛認定証書授与式……………	4		
・「信州の畜産・酪農家との婚活パーティー2017」を開催……………	5	・JA全農長野の事業現況……………	10
・都内で長野県産農産物をPR……………	5	・4月の動き……………	10
・「産地と技の饗宴 信州フェア」商談会で信州産農畜産物を紹介……………	6	・4月のラジオ番組表……………	10
・県内JR駅構内の大型看板を設置……………	6	・松本山雅牛乳『雷鳥奮迅キャンペーン』……………	10
・銀座NAGANOで健康セミナー……………	6	・編集後記……………	10
・県産の花束を持って街を歩こう「信州フラワーウォーク」……………	7		
・JA長野厚生連に福祉車両を寄贈……………	7		



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

平成29年度のスタートにあたって

全農長野県本部 県本部長 小林哲男

春の農作業も本格化し、平成29年度事業がスタートしました。県本部も新体制となり新たな気持ちで農家組合員の営農・生活への貢献とJA経済事業の確立に取組んでまいります。会員の皆様の引続きのご指導とご支援をお願い申し上げます。

平成28年度の事業は、供給販売高が約2,800億円、計画比103%の見込みであり、気象災害や台風等の被害も発生しましたが、長野県農業は高い生産意欲を維持できているものと認識しています。

新年度は「改革」の只中でスタートになります。トランプ米大統領は1月23日、TPPから「永久に離脱する」とした大統領令に署名し、アジア太平洋との貿易協定は2国間交渉に軸足を移すとなりました。4月には露払いというべき日米経済対話が開始されると報道されています。

一方、昨年11月29日政府は「農林

水産業・地域の活力創造会議」において「農業競争力強化プログラム」を決定し同プランを改訂しました。生産資材価格を国際水準まで引き下げ、農産物の流通・加工構造を、時代の変化を踏まえ、効率的なものにしていくとし、全農が生産資材の買

い方や農産物の売り方を改革すること、生産資材業界・卸売市場関係業者・米卸業者・量販店などの再編を進めるとしています。全農は新たな組織に生まれ変わるつもりで、数値目標を含め、しっかりとした年次計画を立て、抜本的な改革を断行することを求められています。

本年度の全農の事業計画は、中期3か年計画を基本とし、昨年9月に決定した「魅力増す農業・農村」の実現に向けた取組みを加え、農業競争力強化プログラムの具体化をはかるものとしています。

県本部においては、長野県産農畜

産物の「売場確保」や「再生産価格の実現」をめざし、実需者への直接販売、契約的取引の拡大をすすめてきたところです。肥料については、土壌分析を基本に県内の多様な土壌条件に対応した適切な施肥をすすめており、農業機械では県域レンタル事業の拡大など、販売購買各部門において行動計画を定めて取組みをすすめています。今後も県本部独自の努力を基本に、全国的な成果も取込みながら、更に高水準の事業を目指していきます。

平成15年の第23回全国農協大会以来、経済事業改革は全JAでの課題として進めてきました。中でも拠点型事業の収支改善をはかるべく、資材物流の合理化、店舗の充実、出向く体制、農機やSSの協同経営など改善も進んできましたが、依然として収支の厳しい部門もあります。多くは事業量の減少により相対的にコ

スト高になってしまったものであり、時代に即した見直しが今年度の課題です。

改革の只中でスタートする平成29年度ですが、長野県農業と協同組合の歴史は農産物市場を見据えた改善の歴史でもあります。今できる「改善」を積み上げ、その先にある高い次元の目標が実現できるよう職員一同粘り強く努力していく所存です。会員JAの皆様のますますのご支援ご協力をお願い申し上げます。

平成29年4月1日

県本部長 小林哲男



生活部
(株)長野エーコープ
サブライ

転換期にあるJA葬祭事業

1. はじめに

長野県JAの葬祭事業は、「価格訴求ではなく品質で選ばれる」葬祭ブランド(虹のホール)の確立に向けて様々な取組みを展開してきました。その結果、確実に「虹のホール」ブランドのイメージは定着し、JA葬祭に対する信頼度も高くなっています。

近年、葬儀に対する消費者ニーズは『価格重視』や『葬儀の小規模化』の傾向が強くなっている中で、現在の「虹のホール」のイメージは「JAの葬儀は品質が高いが価格も高い」「JAはホール(斎場)の大きい葬儀しか行わない」「虹のホールの葬儀Ⅱホールの葬儀」という捉えられ方にも紐づけられてしまっている状況になりつつあります。

2. 葬祭研究会での検討

「虹のホールグループ」の活動母体である葬祭研究会では、前述の状況を踏まえて、増加する小規模葬に対する課題と今後の方向性の整理を行い、『葬儀の小規模化は避けて通れない「時代の流れ」と認識し、小規模化を防ぐのではなく、小規模化に対して何をしていくのか』という視点での取組みを展開していくことを確認しました。

◆メリット、デメリットの説明(的確なアドバイス)

◆ニーズの引き出し(どんな葬儀を望んでいるか)

◆どんな葬儀にも対応する「JA葬祭」のPR

・・・など

3. 新たな視点でのPR

葬祭研究会での検討結果を踏まえ、「虹のホールの葬儀Ⅱホー

ル葬」のイメージを払拭するため、どんな葬儀にも対応するJA葬祭をPRする広告掲載をまず中信地区でスタートしました。今後は虹のホールグループ統一PR活動へも波及させていく予定です。

4. おわりに

JA葬祭事業は、変化する事業環境に対応しながら展開し、組合員ニーズに答え事業規模を拡大してきました。しかし近年の事業環境は過去にない早さで変化しており、さらにスピード感のある対応が必要となっています。今まで培ってきた実績をフルに活かし、また新たな発想を加えながら事業の維持・拡大に向けて取り組んでまいります。

JA虹のホールグループのご葬儀は、かけがえない故人様との最期の時を大切にお過ごしいただけるよう、充実のサービスをご提案します。

少人数からゆったりと
ホールで、
厳かに
菩提寺で、
思い出のつまった
ご自宅で。

JA葬祭では

- ◆虹のホールでのご葬儀だけではなく、菩提寺やご自宅などでのご葬儀も承ります。
- ◆少人数からあらゆる規模に応じて対応させていただきます。
- ◆ご遺族のご予算・ご要望に合ったプランをご提案させていただきます。

互いに連携し、 元気な産地づくりを目指して

「JA長野県青年部協議会との意見交換会を開催」

全長野県本部（県本部）は2月20日（月）、JA長野県ビルでJA長野県青年部協議会（県青協）との意見交換会を開きました。県青協からは役員、JAの単組部長や事務局、県本部からは小林哲男副本部長（当時）以下、関係部課長や各部門で生産現場や営業に携わる若手・中堅職員ら関係者65名が出席しました。

冒頭、県青協の濱幾洋会長より「各部門・品目における問題を出席者全員で共有し、今後の青年部活動と各々の営農に役立つよう、有意義な時間となることを希望する」、小林副本部長より「日頃より各JAを通じて意見交換をしているが、この会で出会った県本部の職員と生産者の皆さんが仲間として今後長く付き合っていく契機となれば嬉しい」とあいさつがありました。

県本部からは、全国における長野県農業の位置付けと県本部の機能について説明しながら、国の農業・農協改革

の動きへの現時点での考えと、JA自己改革における販売力強化および生産資材コスト削減に向けた各部門での具体的施策について報告しました。

意見交換では県青協側から、「現場の作業効率化や収量増と消費者が求める品質・食味が両立した『長野県産ブランド』を維持できる果実の栽培技術



あいさつをする県青協の濱会長

確立と指導体制強化」「担い手のコマ栽培コストで大きなウェイトを占める農業機械のコスト低減」「仕入れの強化による飼料コスト低減と、子牛・子豚といった素畜価格の高騰対策」「多様な手法を活用した農産物PRと消費者に対する新たな需要喚起など、様々な意見や要望が出され、県本部からはそれぞれに対する考えを説明しました。会議全体を通じて、濱会長より「JA青年部は、JAを拠り所に地域農業を振興する目的の元に集まっている。生産者とJAがお互いに要望を伝え合える組織としていくために、来年度以降も意見交換会を開催し、協力体制をしっかりと構築していきたい」と総括がありました。その後交流会が設けられ、栽培品目ごとに分かれた各テーブルでは生産者と担当職員が互いに懇談し、生産・流通に関する理解を深めました。

企画課



会場では宣伝事業の実績や担い手向け生産資材などを展示



女性肉牛農家が情報交換と 親睦を図りました

「第42回肉牛を育てる女性の集い」を開催」

JA長野県・信州肉牛生産販売協議会は1月24日（火）～25日（水）、千曲市の戸倉上山田温泉で「第42回肉牛を育てる女性の集い」を開催しました。県下各地から総勢60名を超える肉牛農家の女性の皆さんが集まり、研修会や分科会を通して情報交換と相互の親睦を図りました。

研修会では、料理研究家の小山浩子先生から、牛乳を和食に取り入れて減塩を進める「乳和食」についての講演があり、年代的にも高血圧、脳卒中は身近な問題のため、和やかな雰囲気の中でしたが、真剣に聞いていました。

分科会では日頃の飼養管理の悩みについて意見交換をしましたが、お父さんの悪口も飛び出すなど、笑いに包まれながらも真剣な話し合いとなりました。懇親会では、豪華景品の獲得



小山浩子先生の講演に耳を傾ける参加者

平成28年度長野県ホルスタイン 名誉原種牛認定証書授与式

3月10日（金）、平成28年度長野県ホルスタイン名誉原種牛認定証授与式が長野県庁で行われました。北原富裕農政部長より認定証書が授与された後、酪農情勢等について懇談会を行いました。

この認定制度は長野県独自の制度で、昭和38年から54年間続く歴史と格式ある制度です。これまで名誉原種牛は、今年度の4頭を加えても長い歴史の中で153頭しかいません。名誉原種牛に認定されるには、本牛とその娘牛2頭以上が原種牛に認定される必要があります。個体能力の高さはもちろんですが、その高い能力が後代に受け継がれていかなければなりません。

今回認定された太田博士氏（JAあづみ）所有のジョーネンアパッチカーネーション号は、平成10年産まれで、これまでに12産し、生涯乳量は154,772kgという乳量記録（都府県歴代3位、県内歴代1位）を持っています。

このほか、今回認定された牛は、新海益二郎氏（JA長野八ヶ岳）所有のラツキーマーシューゴールデンMアニーET号、

- ※原種牛認定要件
- ① 体型得点初産牛80点以上、2産牛以上82点以上
 - ② 乳量初産牛7,000kg以上、2産牛以上9,000kg以上
 - ③ 乳脂量指数250以上
 - ④ 乳量指数200以上



（前列右から）太田氏、五味氏、小林氏、新海氏

小林正春氏（JA長野八ヶ岳）所有のエムケーダーラクリック号、五味英介氏（JA信州諏訪）所有のハヤシファームバクスターペギー号の計4頭です。新海氏、小林氏、太田氏はこれまでも名誉原種牛に認定されていますが、五味氏は今回が初認定となりました。酪農家の減少が続いている中ですが、五味氏のような若い酪農家に先輩酪農家の改良への熱い想いが受け継がれてきた結果だと思っています。

県本部は、今回認定された牛のような長命連産で生涯乳量成績の高い牛群改良を目指して、酪農家、農協と共に今後も生産性向上に努めていきます。

「信州の畜産・酪農家との婚活パーティー2017」を開催

2月25日(土)、松本市のホテルブエナビスタで「信州の畜産・酪農家との婚活パーティー2017」を開きました。長野県生乳生産販売委員会青年部会、JA長野県・信州肉牛生産販売協議会、JA長野県・信州ポーク生産販売協議会が主催し、長野県内の若手男性畜産酪農従事者と、畜産酪農に興味・関心のある女性、各14名が参加しました。グループトークでの自己紹介、1対



和やかに談笑する参加者

1の着席トーク、男性陣自慢の農畜産物のPRと試食など、和やかな雰囲気の中で活発なアピールも見られ、めでたく4組のカップルが誕生しました。残念ながらカップル誕生とはならなかった参加女性も、生産者と会い、直接会話をすることで畜産酪農事業への理解や興味関心が深まったものと思います。

今後も、長野県内の畜産酪農事業の発展と活性化、若手畜産酪農従事者の連携強化に取り組みます。



県産農畜産物をふんだんに使った料理

都内で長野県産農産物をPR

「ふるさと食につぼんの食」に出展

JA長野県農産物PR協議会は3月11日(土)と12日(日)の2日間、東京・渋谷の代々木公園で開催された「ふるさと食につぼんの食 全国フェスティバル」に出展し、りんご、きのこ、加工品を試食販売しました。天候には恵まれたものの冷たい風が吹いていたためか、きのこの売れ行きが大変よく、2日分の予定数が1日で完売しました。サンふじとシナノゴールドは試食を出す「今試食した品種のりんごをちょうだい」と食味の良さが販売につながりました。

また、1日目には東日本大震災や熊本地震に売上が寄付されるチャリティイベントに参加し、「信州きのこたっぷり豚汁」を230食販売しました。販売前にNHKニュースで紹介されたこともあり、配布開始時間には予定数の食券が完売しました。イベントはJA全中やJF全漁連、NHKなどで行く実行委員会が主催。同時に日本農業賞の表彰式も行われ、「集団組織の部・大賞」を受賞した中野市農協ぶどう部会の上原真一部長が賞を授与されました。



信州きのこたっぷり豚汁に並ぶ長い列



りんごを買い求める来場者

『産地と技の饗宴 信州フェア』商談会で信州産農畜産物を紹介

全農長野県本部は、2月22日(水)にホテルメトロポリタン長野で開かれた商談会『産地の技と饗宴 信州フェア』に参加し、信州産農畜産物のプレゼンテーションを行いました。



プレゼンテーションをする片桐雅樹生産販売企画課長

この商談会は、信州デスティネーションキャンペーンを記念して実施され、ホテルメトロポリタン東京池袋、同丸の内の料理長などが出席。商談会前にはJA中野市のきのこ栽培施設を視察するなど、両ホテルで5月15日から7月14日に開催される『信州フェア』で使用する信州産食材の調達について情報交換をしました。

このキャンペーンには山岳観光を中心に県外からの観光客の増加が期待できるため、この好機を活かし、信州産農畜産物のPRに努めます。

「デスティネーションキャンペーン(DC)」

北海道から九州までJR6社が地元観光関係者や自治体と協力し、全国の旅行会社等の協力を得ながら、全国にその地域を旅行先としてPRする国内最大級の観光キャンペーン。信州DCは「世界級リゾートへ、ようこそ。山の信州」をキャッチコピーに、7月1日から9月1日まで開催されます。

県内JR駅構内の大型看板を設置

全農長野県本部生産販売部は、長野県内のJR駅に新たなデザインの大型看板を設置しました。

JR長野駅・軽井沢駅の新幹線ホームなど4駅には、当県本部の農産物PRキャラクター「信州力」と農産物の写真を配したデザインで各品目をアピールしています。長野米は、県内消費喚起と認知度向上を目的に、「ココロをこめて」と冠した看板を10駅に設置しました。

JR駅を利用されるときは、看板にご注目ください。



置駅とデザイン

長野駅 (新幹線ホーム)	信州力、長野米
佐久平駅 (新幹線ホーム)	信州力、長野米
軽井沢駅 (新幹線ホーム)	信州力、長野米
松本駅	信州力、長野米
駒ヶ根駅	長野米
上諏訪駅	長野米
穂高駅	長野米
豊科駅	長野米
信濃大町駅	長野米
白馬駅	長野米

銀座NAGANOで健康セミナー

「トマトジュースでヘルシーイタリアン」

全農長野県本部生産販売企画課は、3月4日(土)に長野県のアンテナショップ銀座NAGANOで開催された『しあわせ信州健康セミナー』にて、長野興農(株)と共同して参加者にランチを提供し、県産農産物と加工品をPRしました。

同セミナーは銀座NAGANOが平成28年度に13回シリーズとして企画した最終回で、健康維持を目的とした第1部の歩行セミナーに続き、食をテーマとした第2部で「トマトジュースで作るヘルシーイタリアン」と題し、長野興農(株)のコーボレシビ開発者でクッキングコーディネーターの浜このみ氏を講師に迎え、トマトジュースやなめたけ、風さやか(米)や旬のグリーンアスパラ、きのこを使った簡単メニューを紹介しました。

なめたけとトマトジュースで味付けされた料理に、参加者からは「やさしい味ですね、家でも試してみます」、「なめたけはあまりなじみがありませんでしたが、常備できる便利さもあり使ってみようと思います」との声が上がり、手軽な調理方法とアイデアに関心が集まりました。



トマトジュースを使ったリゾット調理のデモンストレーション立ち見をされる参加者も

～当日のメニュー～ ☆なめ茸とトマトジュースのリゾット ☆なめ茸とウインナーのトマトジュース煮込み ☆りんごジュースドレッシングのきのこサラダ ☆ブルーエキスの牛乳プリン

県産の花束を持って街を歩こう

「信州フラワーウォーク」

長野県産アルストロメリアとカーネーションで作った花束を持って街中を歩いてもらおうと、「信州フラワーウォーク」が3月14日(火)に行われました。

3月は、ホワイトデーや転勤、退職、卒業など花を贈ることが多いシーズンです。この機会に長野県産花きをPRしようと、JA上伊那、南信ハウスカーネーション組合が主催し、長野県、全農長野県本部の協力で企画され、今年で5年目の開催となります。

生産者とJAの皆さんがJA上伊那のアルストロメリアと南信ハウスカーネーション組合のカーネーションを使い、約500束の花束を製作。JA長野県ビルと長野県庁などで予約販売をしました。

この日は、JA上伊那の御子柴茂樹組合長、南信ハウスカーネーション組合の福沢一郎組合長、上条正明副組合長が長野県の中島理恵副知事を表敬訪問し、花束を手渡しました。中島副知事は「花から



アルストロメリアとカーネーションの色鮮やかな花束



中島副知事を表敬訪問し、花束を贈呈

は心の癒しや元気をもらえるので、花束を贈る習慣が広がることを期待します」と応えました。

JA長野県ビルでは南信ハウスカーネーション組合の福沢組合長が当県本部の畠田武司副本部長に花束を贈呈しました。

花きグループは、今後も長野県産花きの認知度を高め、花の消費拡大につながる取り組みを企画していきます。

スマートアシスト&4WDの最新機種で訪問介護を

「JA長野厚生連に福祉車両を寄贈」

全農長野県本部は、訪問介護に役立ててもらったため、JA長野厚生連に福祉車両10台を寄贈しました。福祉車両の寄贈は9年連続で、寄贈台数は今回を含めて76台となりました。

3月14日(火)にJA長野県ビルで行った贈呈式で、当県本部の高木幸一郎副本部長は「スマートアシスト(衝突被害軽減ブレーキ機能)付の最新機種をお贈りします」と、目録、ゴルフデンキをJA長野厚生連の社浦康三理事長に手渡しました。贈呈を受けた社浦理事長は「地域医療の足として活用します。山間地域を走る為、4WDでアシスト付は安全安心で有難い」と感謝しました。

寄贈車は、JA長野厚生連北アルプス医療センターに1台、長野松代総合病院に1台、北信総合病院に2台、新町病院に3台、篠ノ井総合病院に1台、鹿教湯三才山リハビリテーションセンターに2台が配備され、訪問介護に役立てられます。



(左から) 高木副本部長、社浦理事長、(株)ジェイエイオート長野 土屋社長



人事異動

全農長野県本部(平成29年3月3日付)

- ▽長野県本部部長付 (副本部長 小林哲男)
- ▽長野県本部部長付 (副本部長 丸山正道)
- ▽副本部長(企画・管理担当) (管理部長 湯本 豊)
- ▽副本部長(営農・生産担当) (生産販売部長 高田武司)

〈部長級〉

- ▽管理部長 (総合企画部副部長 佐藤利久)
- ▽JA長野県営農センター長 (生産販売部副部長 片桐雅樹)
- ▽生産販売部長 (同部副部長 小澤卓夫)
- ▽生産購買部長 (同部副部長 小川郁男)
- ▽畜産酪農部長 (同部副部長 小林 務)
- ▽生活部長 (畜産酪農部長 山崎 進)
- ▽東信事業所長 (生産販売部副部長 竹内 聡)
- ▽中信事業所長 (同事業所次長 浅香久寿)
- ▽総合企画部改革推進企画課 (生産購買部長 松田正隆)
- ▽総合企画部改革推進企画課 (中信事業所長 内田 信一)
- ▽東信事業所生産販売課 (JA長野県営農センター長 荻原正雄)
- ▽東信事業所生活課 (生活部付) 齋藤俊幸
- ▽生産販売部付 (東信事業所長 佐藤正彦)
- ▽生活部付 (生活部長 伊藤隆史)

〈副部長級〉

- ▽業務点検・コンプライアンス部グループ会社統括部グループ会社監査課 (畜産酪農部副部長 西澤孝典)
- ▽総合企画部副部長兼改革推進企画課 (生産購買部包装資材課長 青木澄人)
- ▽同部副部長兼情報システム課長 (生活部SS協同経営課長 上原克彦)
- ▽管理部副部長兼総務広報課長 (南信事業所次長兼生活課長 風間貞良)
- ▽生産販売部副部長兼米穀課長 (同部米穀課長 長谷川孝治)
- ▽同部副部長兼果実課長 (同部果実課長 竜野 竜)
- ▽同部副部長兼野菜花き課長 (大阪販売事務所長 岡村達雄)
- ▽同部副部長兼きのこ課長 (名古屋販売事務所長 中田広彦)

▽生産購買部副部長兼施設住宅課長 (同部施設住宅課 中宿信駐在) 下村由幸

- ▽生産購買部施設住宅課 (同部副部長兼施設住宅課長) 久保田昭二
- ▽畜産酪農部副部長兼酪農課長 (総合企画部副部長兼情報システム課長) 齋藤千秋
- ▽東信事業所次長兼生産販売課長 (生活部付) 工藤政文
- ▽南信事業所次長兼生活課長 (同事業所生産販売課長) 古村智之
- ▽中宿信事業所次長兼生活課長 (生活部付) 山口秀幸
- ▽大阪販売事務所 (管理部副部長兼総務広報課長) 山田展晴
- ▽名古屋販売事務所 (東信事業所次長兼野辺山駐在所長) 岩崎直樹
- ▽名古屋販売事務所 (北信事業所次長兼生産販売課長) 外谷昌幸
- ▽生活部付 (中宿信事業所次長兼生活課長) 和田 敏

〈課長級〉

- ▽管理部長 菅野真一 (同部人事課長代理) 浦野真一
- ▽生産販売部生産販売企画課長 (同部生産販売企画課長代理) 安武裕高
- ▽生産購買部包装資材課長 (管理部長 菅野真一) 高木昭彦
- ▽同部生産資材課長 (中宿信事業所営農資材課長) 由井正明
- ▽畜産酪農部畜産課長 (同部畜産課) 滝本勝成
- ▽生活部SS協同経営課長 (同部SS協同経営課長代理) 平澤英人
- ▽東信事業所野辺山駐在所長 (北信事業所付) 山岸順一
- ▽東信事業所営農資材課長 (生産購買部包装資材課長代理) 島田忠之
- ▽中宿信事業所生産販売課長 (大阪販売事務所次長) 中田伸一
- ▽中宿信事業所営農資材課長 (東信事業所営農資材課長) 森田陽一
- ▽北宿信事業所生産販売課長 (生産販売部営業課長代理) 北澤治樹
- ▽大阪販売事務所次長 (中宿信事業所生産販売課長代理) 小島敬三
- ▽生活部付 (生活部生活課長) 依田 稔

全農長野県本部(平成29年4月1日付)

- ▽長野県本部部長 (長野県本部部長付) 小林哲男

平成29年度 機構・分掌・要員について

I. 基本的な考え方

1. 中期事業ビジョン(平成28〜30年度)並びに中期事業計画(平成28〜30年度)に基づき、JA・県域および子会社と統一した戦略のもと、効率的・一体的事業運営体制をつつじた県本部機能の発揮により、農業所得の増大と地域の活性化に取組む機構・分掌としJA自己改革を加速化する。

2. 営農指導、生産(生産販売、生産購買、畜産酪農)事業においては、長野県農業の生産基盤強化とブランド確立、営業力強化による顧客確保、仕入れ強化・生産流通コスト削減による生産者手取りの最大化を目指す体制を構築する。生活事業においては、事業分野の選択と集中による競争力強化をはかり、ライフラインの充実を目指す体制を構築する。

3. 県本部グループのガバナンス体制・コンプライアンス態勢の再構築、県本部総合経営管理制の堅持により、部門別事業競争力強化と経営基盤の確立をはかり、県域結集の拡大と成果を得る県本部の運営を行なう。

4. 事業・経営環境の変化に対応する業務体制を確立し、専門的業務の継続性および事業の効率性の維持強化をはかり、要員は多様な雇用形態による効率的な体制とする。なお、継続雇用制度導入に伴う再雇用職員は、キャリアを踏まえた配置を行なうものとする。

II. 機構・分掌・要員の主な変更内容

1. 総合企画部

(1)県本部総合経営管理制の考え方にもとづき、農業・農協改革への対応と、次期中期計画

を含む本会の事業・組織体制を検討する専門体制として、総合企画部がこれにあたり、企画課の名称は「改革推進・企画課」とする。

2. 生産購買部

(1)県域農機レンタル事業について、農業機械課は計画策定・貸出スケジュール調整等統括管理、農機整備センターは納品・引揚げ・整備等の実務、事業所営農資材課は推進業務を分掌する。これに併せ、農機整備センターで兼務していた東信事業所管内の農機推進業務は、全て東信事業所営農資材課へ移管し、より効率的な推進体制とする。

(2)農機協同経営へのJAながの志賀高原・みゆきブロックの新規参加にともない、両ブロックに係る農機推進業務の分掌を北信事業所営農資材課から農機協同経営グループへ移管する。

3. 生活部

(1)SS協同経営課は、下伊那地域のエリアマネジメントを柔軟で統括的な業務対応を可能とするため、飯田駐在(JAみなみ信州経済部内)を設置し、同駐在を基点としたエリアマネージャー業務を行う。

4. 事業所

(1)北信事業所営農資材課における農機担当者配置は、現状どおりとするが、JAながのに係わる農機協同経営グループ業務を兼務する。

以上

4月の動き▶

人 事 課	4/3(月)	新採用職員入会式 JA長野県ビル
果 実 課	4/12(水)～ 14(金)	惣菜デリカ・弁当・中食・外食・給食・配食 ファベックス2017 東京ビッグサイト
きのこ 課	4/14(金)	大相撲松本場所 松本市総合体育館 きのこの即売と、力士・関係者に「長野県産きのこ汁」を振る舞います
	4/22(土)～ 23(日)	ナガノきのこ大祭2017 長野市ビッグハット
畜 産 課	4/6(木)	4月期長野県中央家畜市場 長野県中央家畜市場
酪 農 課	実施中～ 4/20(木)	松本山雅牛乳 「雷鳥奮迅キャンペーン」

4月のラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名	放送内容（予定）
4/4(火) 16:10	SBC ラジオ	情報わんさかGO!GO! ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	長野県ブラック& ホワイトショーの様子
4/11(火) 16:10	SBC ラジオ	情報わんさかGO!GO! ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	〃
4/18(火) 16:10	SBC ラジオ	情報わんさかGO!GO! ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	こどもフェスタ2017の様子
4/25(火) 16:10	SBC ラジオ	情報わんさかGO!GO! ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	牛乳クイズ

牛乳を飲んで 松本山雅FCを強くしよう! 松本山雅牛乳『雷鳥奮迅キャンペーン』

牛乳を飲んで松本山雅FCを強くしよう!

松本山雅牛乳

雷鳥奮迅キャンペーン

キャンペーン期間：平成29年
3/13(水)～4/20(木)

松本山雅牛乳を飲んで、
ペア観戦チケットをゲットしよう!

明治安田生命J2リーグ 第17節 ホームゲーム 13:00キックオフ 会場/アルウィン

6/4(日) 松本山雅FC × 東京ヴェルディ

抽選でご希望の観戦チケットをプレゼント!
S席(ペア).....5組10名様 または
エキサイティングピッチシート(ペア).....5組10名様

応募締切：平成29年 4/20(木) ※当日必着
※詳しくは裏面にをご覧ください。



全農長野県本部酪農課は、「松本山雅牛乳 雷鳥奮迅キャンペーン」を実施中です。

松本山雅牛乳を飲んで！バーコードを集めて！奮ってご応募ください。

- 賞 品 6月4日（日）松本山雅FC×東京ヴェルディ S席（ペア）観戦チケット 5組10名様 または エキサイティングピッチシート（ペア） 5組10名様
- 応募方法 松本山雅牛乳のパッケージについているバーコードを切り取り、5枚一口として店頭の専用応募用紙またはホームページより応募用紙をプリントアウトして必要事項をご記入の上、封書にてご応募ください。 平成29年4月20日（木） 当日必着
- 応募締切
- 宛先・お問い合わせ先 〒380-8614 長野市大字南長野北石堂町1177番地3 JA全農長野 酪農課 TEL. 026-236-2382

▶詳しくは、JA全農長野ホームページをご覧ください。

編集後記

この時期は、多くの企業や学校で出会いと別れの季節です。

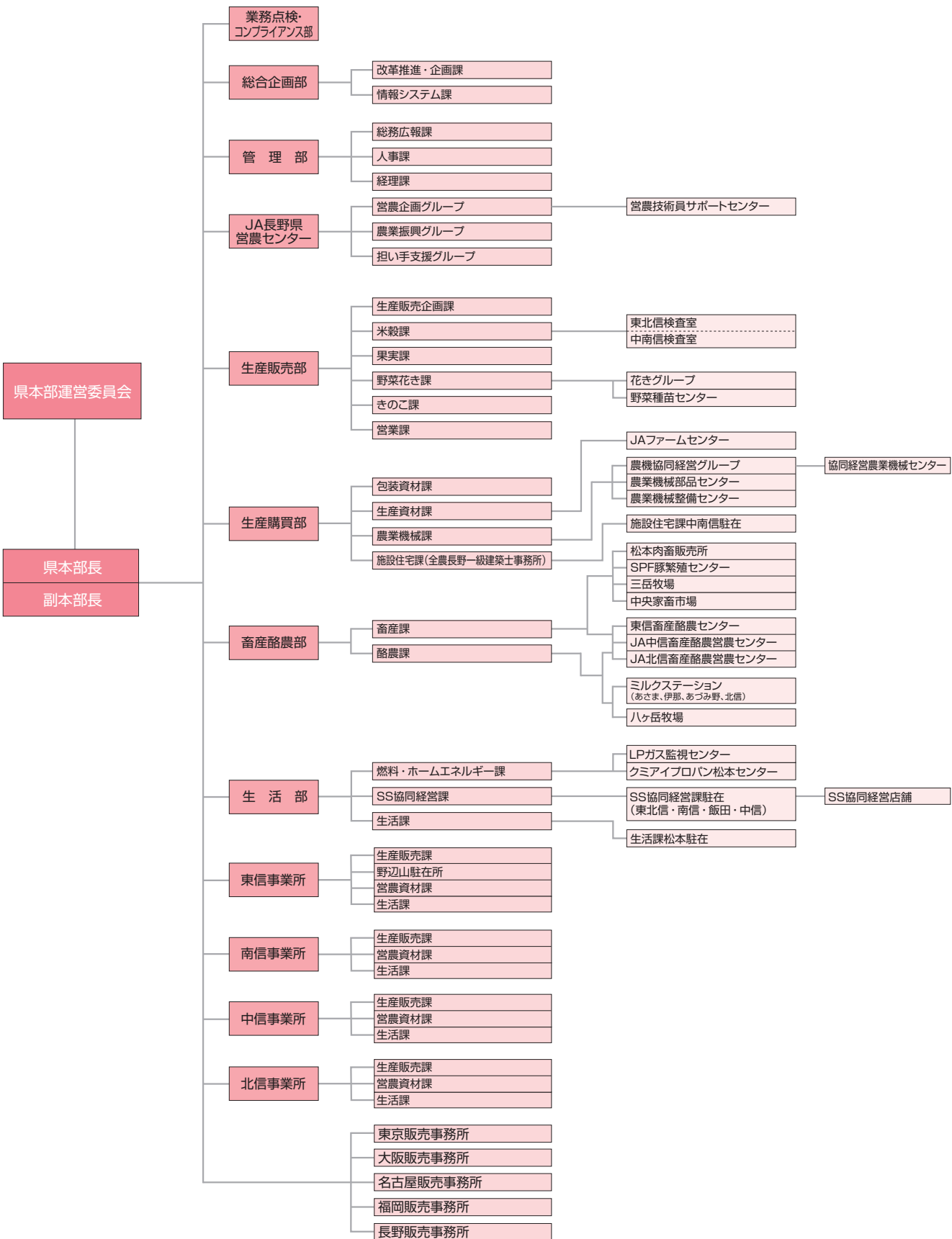
私達の職場も定期人事異動があります。また定年退職を迎える先輩方や新しく新採用職員の面々も仲間に加わるといった、職場に大きな変化が起きる時期でもあります。

読者の皆さんの中にも、家族の方に入進学や就職、転勤などで生活に大きな変化を迎えられる方もいらっしゃると思います。生活環境の大きな変化は、いろいろな意味で期待と不安が入り混じり、体調も崩しがちになります。

また三寒四温、温度変化も大きい時期です。季節の変わり目は、特に食事や睡眠を十分意識して、しっかりと体調管理に心がけたいものです。皆さん、おいしく新鮮な長野県産農畜産物を食べて頑張りましょう。

新年度も、全農長野県本部の役員一丸となって頑張ります。よろしくお願ひします。

(K)



小平奈緒は、「信州」を食べて育ちました。

スピードスケート
小平奈緒 選手
所属:相澤病院(松本市)



長野県の美味しい作物は
みつやま
「三ツ山マーク」をつけて
出荷しています。

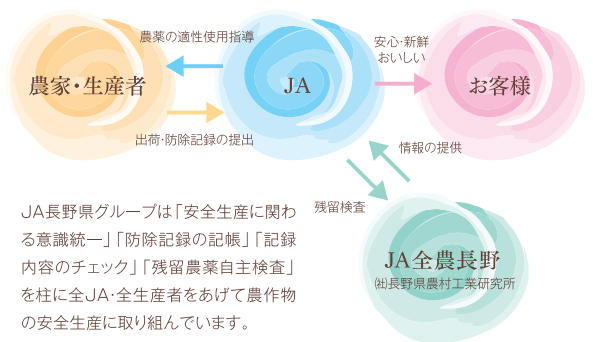
JA全農長野は、信頼される産地を目指し、
安心安全な農産物の供給に努めています。

産地産直で信州を食べよう!!



インターネット通販
JAタウン 僕はおいしい応援団

『安心・新鮮・おいしさ』を
お届けできるワケ



ながの★ゲンキ
みらい★ミカタ
JA全農長野



〒380-8614 長野県長野市大字南長野北石堂町1177番地3

信州力
JA全農長野農産物PRキャラクター



光と風と水のハーモニー
JA全農長野

JA全農長野ホームページ <http://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JAタウン」 <http://www.ja-town.com>

